

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	清掃管理課
課名	環境衛生課

予算	款	項	目	決算書
	4	2	5	138 頁

目名
白鹿浄化センター費

事務事業名称
一般廃棄物処理事業

1. 概要

目的	一般廃棄物の適正な処理	対象	豊後大野市民 臼杵市(野津町)市民
事業概要	<p>○一般廃棄物処理事業 豊後大野市内及び臼杵市野津町より収集、搬入されたし尿、浄化槽汚泥は脱水、薬品、膜分離、活性炭ろ過し、河川に放流。脱水汚泥は乾燥し生ごみと混合、発酵槽にて発酵させて堆肥化とする。</p> <p>処理能力:80KL (し尿27kL/日、浄化槽汚泥53KL/日、生ごみ1t/日) H23は処理量:し尿(3,704kL)、浄化槽汚泥(18,805KL)、生ごみ(13,450kg)</p> <p>堆肥化は約204t(13,600袋)で搬出は13,480袋であった。</p> <p>【主な経費】 修繕料 膜分離装置膜交換・他</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	一般廃棄物処理事業	処理費、整備費	需用費	138,004	137,226			22,301	114,925	3
計				138,004	137,226	0	0	22,301	114,925	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な処理	目標年度	H24	指標の設定理由		
	数値	—			安定した処理を行ない、水質の向上には機器の整備が必要である		
活動指標	指標	a 施設維持管理の適正化	b	施設の機関改良	c	外部委託の検討	d
	数値	目標 経費の削減(A重油)	目標	処理方式及び機器設備の改良・変更	目標	機器等整備委託の検討	目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
適正な処理		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 施設維持管理の適正化	リットル	288,000	238,000	188,000
b 施設の機関改良		—	—	—
c 外部委託の検討		—	—	—
d				

## 4. 課題と対応

課題
10年目を向え、維持管理費等が増額となってくる。
対応（改善点等）
膜分離装置の設備変更、脱水汚泥を助燃剤として検討中

## 5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

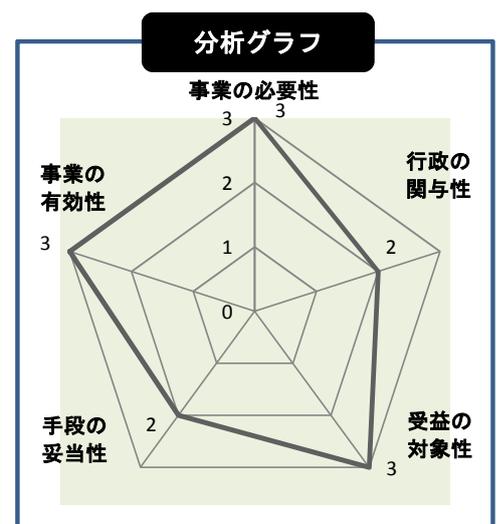
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		113,448	138,335	137,226	148,787
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	23,562	23,573	22,301	25,447
	一般財源	89,886	114,762	114,925	123,340
うち経常		89,886	114,762	114,925	123,340
事業費に係る人件費		19,200	19,709	19,350	19,322

## 6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
大きな工事等がない為。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 一般廃棄物は、関係町村が処理しなければならない。（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 市が実施主体であるが、機器類のメンテ等は、委託検討の余地がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 豊後大野市、臼杵市野津町の住民の処理施設である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 検討の余地がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果が上がっている。



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	施設利用が長期にわたる為、必要な整備を適正な費用で実施することにより、施設の性能を維持し、トータル的な経費節減につなげること。